

私は、一九七〇年に東京の高円寺で生まれ、母親がカトリックの信者だったことから、生まれて約三ヶ月後に洗礼を受けられました。でも、私は小学校に上がるまで教会に行



町田教会にやつて来るまでの歩み

主任司祭小池亮太

A black and white illustration of Jesus Christ standing on clouds. He is depicted from the waist up, wearing a long, flowing robe and a simple, circular halo. His hands are raised in a gesture of blessing or ascension. The background consists of stylized, billowing clouds that frame him. The overall style is reminiscent of traditional religious iconography.

「主イエスは、弟子たちと話した後、天に上げられ、神の右の座に着かれた」
「…あなたがたから離れて天に上げられたイエスは、天に行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになる」 マルコ 16・19 / 使徒 1・11

雷の子

カトリック町田教会
町田市中町 3-2-1
電話 042-722-4504
FAX 042-722-4512

いかずちの子

<http://www.machida-catholic.jp/>

また、当時神学生の立花昌和（木更津）が高円寺教会に研修に来ていきました。私は高校を卒業すると、陶芸家になるために京都で一人暮らしを始め、弟子入りして働き始める。日曜日しかなくつた休みを利用して京都に限らず大阪や奈良まで美術館や博物館に出かけていたこともあり、教会にはほとんど行きませんでした。けれど、益々暮れに東京に戻つてくれれば高円寺教会に顔を出し、神父たちの旅行に連れて行つてもらつたりもしていました。そのような旅行中に突然、寺西師が「亮太、おまえ幾つになつた？」と言い出したので、「二十三です」と答えると、「そつか。おまえも神学校に入れる歳になつたか」と言うのです、陶芸家になる以外の将来を考えていなかつた私は、その言葉を気に留めませんでしたが、その後、神学院の院長に就任していいた寺西師の所へ「神父になりたい」と相談に行つたのです！

無事に神学院に入学することができました。そして、私が入学した同じ年に、高木賢一師は神学院のスタッフに就任したのです！

神学院での養成の中に土田の小教区での実習があります。松木教会(小川拓郎師)で一年、関町教会(藤岡和滋師)で一年、八王子教会(藤井泰定師)、マルコ・アントニオ師)に一年、関口教会(若橋淳一師、伊藤幸史師)で一年、お世話になりました。その間、東京教区の教区長は白柳誠一枢機卿から岡田武夫大司教に代わり、補佐司教も森司教から幸田司教に代わりました。神学院の院長も寺西師から板垣勤師(仙台教区)に代わり、神学院の建物も新しくなりました。

しかし、私は養成を受けながら、様々な出来事や人の関わりの中で、自分の司祭召命に疑問を持つようになつてきました。司祭になるまでは、助祭司祭候補者認定、朗読奉仕者選任、祭壇奉仕者選任、助祭叙階という段階を踏んでゆきます。そして、その都度、請願書を提出するのですが、私は『祭壇奉仕者の選任願い』を出すことができませんでした。岡田大司教が迷っているなら急ぐ必要はない』という判断から選任は見送られました。

そのような時、八王子教会でお世話をしたマルコ師から、「メキシコにあるケアダルベ宣教会の神学院で研修したらどうだ」と提案され、大司教は悩んだようですが、一年間の研修が決まりました。メキシコでの体験は私にとって非常に大きなもので、自分の司祭任命を確かめるための重要な時間となりました。

研修が終わって神学院に復学すると、院長は平田豊彦師（名古屋教区）に交代していました。その後、助祭叙階も受け、無事に神学院を卒業し、二〇〇五年五月八日に東京カトリック大学において岡田大司教により司祭に叙階されました。

最初の赴任先である立川教会で三年の間、主任の辻茂師（板橋）、信徒の皆さん、また、多摩北宣教協力体で一緒に働いた山本豊太郎師（関口）、稻川圭三師（八王子）から多くのことを教わりました。

その後、二〇〇八年から主任司祭として任命された小岩教会で三年間を過ごし、二〇一一年の春に町田教会にやって来たのです。書き切れませんでしたが、他にも多くの司祭と信者の皆さんに支えられながら私はここまで歩んで来ましたし、これから町田教会でも、信者の皆さんと共に歩んでゆけたらと願っています。

運営委員会の議長になつて

運営委員会議長
立木 欣吾



今年、運営委員会の議長を務めさせていただいくことになりました立木と申します。町田教会で洗礼を受けたのは二〇〇八年のクリスマスの時ですから信者歴は短い方です。昨年は副議長をしておりました。一年先輩の運営委員の方に頼りっぱなしのまま、一年間が過ぎてしまいました。それでも毎月一回の運営委員会には出席して、ようやく運営委員会のやつている流れは理解できるようになりました。

経験がないだけでなく、神父様の異動に加え、大震災や原発事故という未曾有の災害が続き社会は不安定、教会の運営は、皆さんのお力を借りしなければとても乗り切れそうもありません。

今年の運営委員会の抱負や方針は？と何人かの方に聞かれました。個人的に町田教会はこうあってほしいという希望はあっても、抱負や方針などと言えるほどのものはありません。議長は運営

していく役割を担っているのが運営委員会、その運営委員会の議事が円滑に運ぶようにしていくのが議長の役割であると認識しています。

それを前提に申し上げるならば、新しく来られた方や若い方が意見が尊重され、また立場の弱い方や子供が歓迎される教会でありたい、今まで町田教会がそうであったように、引き続きそうであってほしい、と願っています。そのためには声なき声に耳を傾ける努力を惜しまないようになりたいと思います。教会に足を運んだ時に、入り口で門が閉ざされてしまうような敷居の高い教会ではならぬないと考えています。

教会に行けば温もりを感じられ、教会に行けば気持ちが落ち着く、祈りを捧げることで穏やかに一週間が過ごせるそんな教会であることが私の理想です。

議長になつて一ヶ月半、今までよく知らなかつた方から

委員会の議事進行を司る役割です。神父様の御指導を仰ぎながら、運営委員の皆さんや信徒の方の意見を広く取り入れて、教会としてどう取り組んでいくかということを決めていく役割を担っているのが運営委員会。その運営委員会の議事が円滑に運ぶようにしていくのが議長の役割であると認識しています。

それを前提に申し上げるならば、新しく来られた方や若

つた状況に出会いうこともあります、どう対応すればよいか、何を神様は望んでおられるのかを自分に問い合わせつつ、答えを見出していきたいと思います。

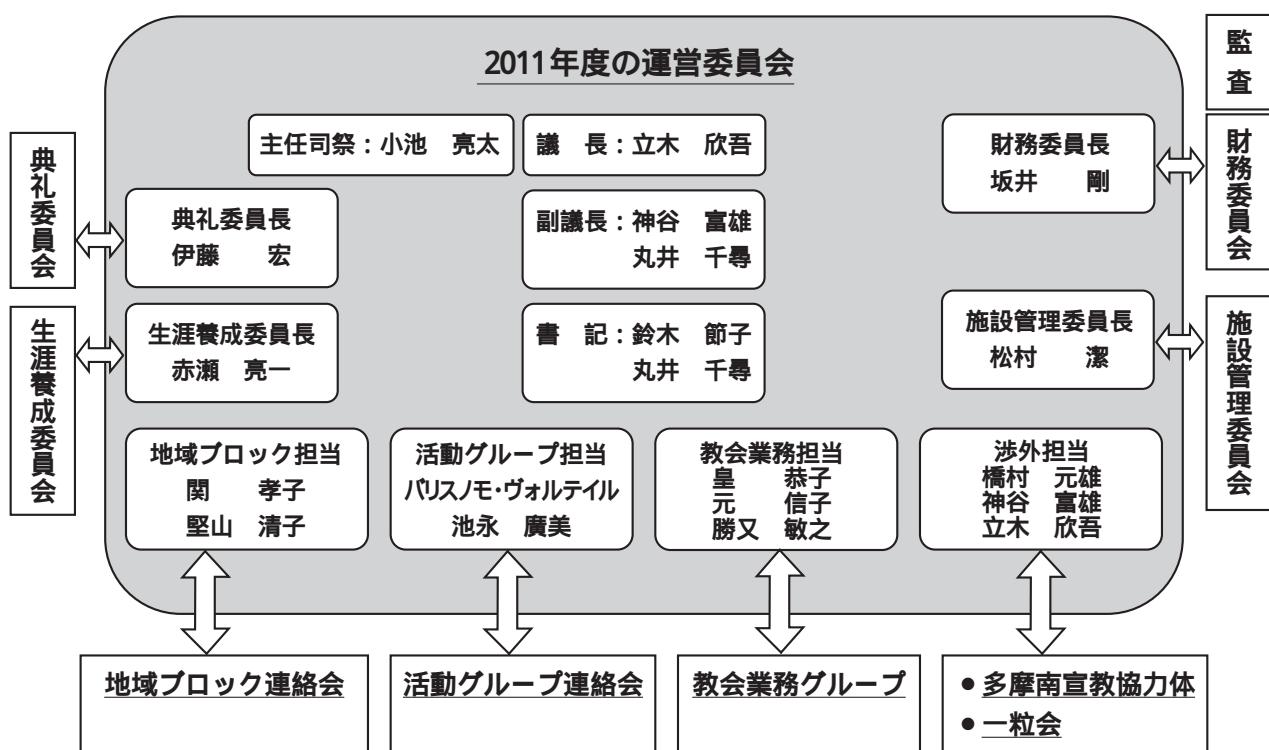
一 日黙想会に参加して

坂井 剛

ちょっと日常を離れ、静かな環境で自分の心と対話しう……。三回目になる町田教 会生涯養成委員会主催の「一日黙想会」が四月十日(日)に行われました。

指導は高木賢一神父、参加者はおよそ百五十人、高木神父の異動発表後ということもあり沢山の方が参加され、私も特別な思いで参加しました。生涯養成委員会は、高木神父が常日頃話されている「教会は信仰共同体であつて成熟していくはずのもの……」という指導の一環として発足し、一日黙想会は具体的な行動として企画されています。

意見を頂くことがあります。言われてもよくわからなくてあたふたしてしまうこともあります。また、励ましの言葉をかけてくださる方もいらっしゃいます。見てられないよつてことなのかもしませんが、教会に通うことが、より一層楽しみにもなってきました。これまで思つてもみなかつた状況に出会つこともあります、どう対応すればよいのか、何を神様は望んでおられるのかを自分に問い合わせつつ、答えを見出していきたいと思います。





神の言葉のよき通訳

安藤 康弘

エス・キリスト、共同体と共同体として、更なるご活躍をお祈りしております。

高木神父様、八年間ありがとうございました。

高木神父とは、町田教会の新しい運営のしくみ作りを一緒にさせていただき、今までに関わった司祭で一番お世話になつたと思います。

高木師は、説教や講話、勉強会等でファンが多かつたと

思います。

我々カトリック信者はイエス・キリストの下に集まっているわけですが、「神のみ言葉」はときに難しく、神父という通訳を介してつながろうとする傾向があります。

ゆえに信者は、神父という存在自体にひかれたり、通訳が自分に合わなかつたりする

と、自分に合つた神父を探すのです。そのため、司祭の異動とともに信者が教会を移つたり、ミサに来る信者数が変動したりします。

高木師は、教えについても教会運営についても、「神父が主役ではない」というメッセージを発信し続けました。

これからはご活躍の場こそ

変わりますが、我々信者トイ

高木神父様は話が上手で、ミサの説教、聖書講座や要理講座、黙想会などの講話と、いつも大変分かりやすく印象深いものでした。

まず話の枠組みを示し、個々の事柄についてはヘブライ語やギリシア語の原文から説明してくださいます。そして、初代教会の姿やカトリック教会が育んできた伝統などから、その福音の述べ伝えんとすることを解説してください。單に字面を読むだけだった私も理解を深めることができました。これから神父様の講座を受講して体系的に勉強していく

です。

るには大変残念ですが、今後は東京教区全体のために働いてくださることですので、喜んでお送りしなければと思っています。

高木神父様との思い出

島田 和人

高木神父といえば、土曜学校や中高生会でいろいろと出かけていった思い出があります。遊んだ記憶ばかりが多いなかでぱっとと思い浮かぶのが、「早食い」と「ジェットコースター好き」です。

夏期学校で食事をすればやたらと吃るのが早く、横に座っている小学生はもちろんリーダーよりも早く食べてしまいます。特にカレーは飲み物のごとくお皿の上からなくなっていました。

また、ジェットコースター

4月17日に開かれたヨセフ会の高木師送別会には34名の男性信徒が集まつたが、口々に同師の博識ぶりが感嘆と称賛を交えて披露された。

師が2003年着任後すぐ始められた聖書勉強会に、私

が好きとあって、中高生会の練成会で行つた富士急ハイランドでは、絶叫系の乗り物はほとんど乗りつくしたのではないでしょうか。中高生が怖いといった絶叫マシンも、楽しい。もっと怖くてもいい」と言つぐらゐでした。

高木神父との思い出といふとこんな遊んだ記憶ばかりでありますが、早食いは程々にしてこれからも健康に気をつけてご活躍して欲しいと思います。

原語にさかのぼる説明の中

で、忘れられない言葉の一つ

に「スプラインクニゾーマイ

(ギリシア語)、日本語では

ほとんどそれがなかつたのも驚きである。

は末席を汚してきたが、それは「町田カトリック信徒大学」ゼミの感があった。大学の授業には休講がつきものだが、ほとんどそれがなかつたのも驚きである。

は末席を汚してきたが、それは「町田カトリック信徒大学」ゼミの感があった。大学の授業には休講がつきものだが、ほとんどそれがなかつたのも驚きである。



^町田カトリック信徒大学ゼミ。



^神と人のよき通訳。



^頭にタオルを巻いて…。



^…はほどほどに、健康に気をつけて、

らわた・する」がある。神の本性「憐れむ」を示す言葉だと教えられた。

私が出席したものに、旧約は創世記、出エジプト記、レビ記、イザヤ書。新約ではマタイ、ルカ、ヨハネ、使徒言行録、黙示録、主日の福音があるが、それ以外にもマルコ、申命記が講じられた。

要理はもちろんのこと、週日に司牧・宣教プログラムがこれほど充実していたことは記憶はない。

「講義」のあとで茶飲み話がこれまで絶品で、説教では絶対聞けない教会よりも山話が聞けたのも嬉しかった。

神に感謝！ 高木師に感謝！

水野 貴久子

ある日、痛々しい擦り傷を二の腕まで負わされた神父さんが、「土曜学校で鬼ごっこをして」と腕白坊主の笑顔で話された。このように、子どもから老人まで一人ひとりと真剣に接して大切なものを残していくだったので、誰もが惜別と感謝の思いでいっぱいしている。

着任早々、町田教会の意思決定の枠組みを作り、その透明性と説明責任を果たすこと強調して取り組まれた。そのやり方は、話し合いを重ね、皆の納得が得られるまで忍耐

強く時間をかけるところものであつた。

さらば、数多くの聖書や原理の勉強会、教会の歴史や典礼の解説などを通して、信徒が深い信仰の上に立ち共同体の一員としての役割を担えるようにならう。

一方、連続講座を開いて、宣教協力体の基盤強化を積極的に進めてくださった。

神父さまのお陰で、着任された頃に新しい建物の中に鳴つていた不協和音は消え、今私たちは、静かに神の声を聞き、心を一つにして神の御心に添つて、愛の調べを外に向けて響かせたいと願うようになったのである。

神に感謝！ 高木神父さまに感謝！ 高木神父さまに感謝！

東京大司教区事務局長の重責を担われる神父さまに、神のご加護をお祈り申し上げる。

子供たちから

小5 新しん百菜実もなみ



実り多い日々を

田中昇神父

司祭助任 2010年4月～2011年3月

これからはできるだけやりたいと思っています。
高木神父様、これからもがんばってください。

いしそうに食べる神父様。
大なわを一生けん命、上手にとんでいた神父様。

やすくお話をしてくれた神父様、いつも「ヨーロッパ」と声をかけてくれたやさしい神父様。
どの神父様も、私は忘れません。

に心からお祈り申し上げます。
じうど元気で。

東日本大震災とフルート

元 信子

三月十一日の地震の直後、私は小田急相模原から野菜と鍋をキャリー・バックに入れ、一時間以上かけて歩き、二時間遅れで教会に着きました。

この日の田中神父のお別れ会に参加できたのは、結局三人になつてしましました。

私が田中神父の聖書講読会に参加させて頂いたのは六ヶ月の短い期間でした。これまで私は生きるのが精一杯、心のゆとりもなく、聖書の勉強会に参加するのははじめてでした。勉強会の内容が主日のお説教と同じと思っていましたから。しかし一つの聖句を幅広く、深く説明され、質問に対しても丁寧に答えて下さいました。

最後の御ミサのときはお説教の中で、四旬節の四十日の中、意味を旧約聖書の様々な出来ごとに重ね合わせて説明され、キリスト者はこの大震災を通して神に信頼し、祈りによって生きる希望が与えられる

と/or どうぞ、沢山の与えられているものを生かし、若い感性で広く見聞きし経験されます。そして、そしてここ自身の靈名使徒ヨハネのように神に愛される司祭になりたいとの願いを、神様が豊かに祝福し、やがて完成して下さりますよ

神ともにいまして

富田 文子

田中神父様、美しい五月のイタリアの空の下、充実した日々をお過ごしのことと存じます。

神父様をお送りした今、感謝の思いとともに心に浮かぶのは、神様の救いのみ業を柔らかい心で思いを込め力強く説かれるまっすぐなお話し

ひがて完成して下さりますよ
うでした。
ながら話される中に、神父様の自由で伸びやかなお人柄がうかがえ、質問が出る和やかな時間でした。

どうぞ、澤山の与えられているものを生かし、若い感性で広く見聞きし経験されます。そして、そしてここ自身の靈名使徒ヨハネのように神に愛される司祭になりたいとの願いを、神様が豊かに祝福し、やがて完成して下さりますよ

私はあの非常事態の中で、田中神父のフルートの素敵な音色を共に喜びのうちに聴くことができ感謝しています。



「生涯養成」といつたネー三
ンケが一の足を踏ませるのか
も知れませんね。私は参加自由の委員会に出席していまし
たが、自由な議論がなされ
いました。委員会発足まで粘
り強く会を運営された加瀬さ
ん、そして現在の赤瀬委員長
が信徒と共に歩む等身大の集
まりを意識されているからだ
と思ひます。

今回の黙想会で一人静かに祈り、自分を見つめながら、家族のこと、東日本大震災被害者のこと、生と死についてキリストの受難と復活…、そしてこの黙想会を企画した生涯養成委員会についても静かに思いを巡らせることができました。

この「雷の子」が発行される頃には委員募集も終っていますが、皆さん生涯養成委員会をどのように考えておられますか?

中3 新隼人

一ムを行つたため、白熱した
戦いになつた。

今回は新中学一年生も交ふ
た、普段よりも多くの中高生が
集まり、とてもにぎやかな練
成会となつた。

教会に戻った。今日はケーキ作りとゲーム大会を行つた。ケーキ作りでは見た目重視のケーキを目指して作つていたが、作るうちに想像していたものと変わつてしまつたようだ。ゲーム大会

を受け、教会にて日帰りで行った。3月19日（土）朝10時に集合し、お昼ご飯を街中で一緒に食べ、買い出しをして

中高生会 春の鍊成会

リーダー 本宮 智愛

「一 日 黙想会でいろいろな題
いを巡らして いましたが、新
しく着任された小池神父の指
導のもと 默想会を含め新たな
取り組みはどのようになるの
だろうか! と、わくわくし
て いました。手作りの生涯鑑
成委員会の企画に、皆さんと
一緒に支援したいですね。

泊の予定だったのに行けないはずでしたが、地震の影響で日帰りの練成会となつたので参加できることになつたのです。当日は午前中に集まつて

昼食を食べに行くまで少しだけ時間が余つていたので、2回だけトランプを使って大富豪をして遊びました。



昼食はフライデーズというハンバーガー屋に行きました。ハンバーガーは、大きくてとてもおいしかつたです。そのあと、夕食のカレー・やケーキの材料やゲームの賞品などの買い出しに行きました。

教会に戻つてカレーとケーキを作りました。そのあと、大富豪やウノをしましたが、一番得点が高かつたのは僕の弟でした。最後にカレー・やケーキを食べました。とても楽しかつたです。

御復活祭おめでとう

(4月24日)



ワンポイント聖書



(181) 前島 誠

私の顔の上に」(7節)となつています。

他の神々が、何人雁首を揃えても、私に敵対することはできない。だから心配ご無用だ

これがこの掟の中身でした。

「いかなる像も造るな」(8節)といつ命令は、これに続く当然の帰結です。

ユダヤ教のシナゴーグ(礼拝堂)には、聖像の類いがありません。中央の読誦台に置かれた聖書(旧約)の朗読を中心に、毎土曜日の安息日礼拝 成立条件は10人の成人男子(13歳以上)の出席です。

ましょう。「あなたには、わたしを置いてほかに神があつてはならない」とあります。「この部分、原文の語り口は、「あなたにはありえない、他の神々が、

(中略)わたしは嫉妬深い神なのだ。わたしを否む者は、父祖の罪を子孫に三代、四代までも問うが、わたしを愛し、わたしの戒めを守る者には、幾千代にも及ぶ慈しみを与える」(申命記5章7～10)

信者動静

2011年3月～4月

(個人情報のため、削除しています)

長年にわたり広報の責任者として「雷の子」の編集にあたつてこられた丸口義和氏が、このほどやむをえない事情のために業務から離れられることになりました。長い間、力に心より感謝いたします。

「雷の子」次号編集会議予定
6月19日(日)09時30分
於会議室

犠牲献金
中高生会
3月13日 13,458円 (ペロニカ苑へ)
4月3日 51,916円 (東北関東大震災へ)
5月1日 15,579円 (仙台教区へ)